

起因物、事故の型：金属材料 - 転倒の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労働 者規 模
1	9～ 10	当社工場内で鋼材コラム（口500×500×32、L5.5M）を2.8tクレーン2台で上を見ながら移動操作中、鋼材を置くためのマンホウ（角パイプ100×100、L2M）につまずき転倒した。その際に右手を床につき、右手橈骨遠位端骨折した。	39	11209	30～ 49
1	8～9	自社製造工場内の屋根材断熱材裏張りラインにて、コイル巻き取り作業中、一旦ラインを離れて巻き取り後コイルをライン枝の蔵置場に運び、再び作業場へ歩いて戻る途中、床に敷いていた薄鉄板の一部に、床より1cm程めくれた箇所があり、そこに左足つま先が引っかかり転倒し、右足膝を床に強打した。転倒後、それほど痛みが強くなかったが、次第に腫れや痛みが強くなった。	47	11209	10～ 29
1	10～ 11	倉庫内を片付け中に、仮置きしていた鉄筋に引っかかり転倒、置いてあった角材に左背中を強打した。自力で歩行等は出来るものの痛みが酷く、背中側2番目の肋骨が骨折していることが分かり、全治1ヶ月程度にて安静が必要になった。	67	30309	30～ 49
1	10～ 11	資材を置くため、単管パイプ棚を作る作業中高さ80cmの棚からトラックの荷台上へ移動する際に足を滑らせて転倒、右肋骨及び右足を強打し負傷した。	54	30199	—
1	11～ 12	高所ガラス清掃の為、2段梯子を使用し、作業に取りかかる際、梯子の下の部分が滑り、補助要員も支えきれず、梯子に捉まった状態のまま滑り落ちた。	47	150101	100 ～ 299
1	15～	クレーンを使って荷下ろし中、鋼矢版の上を歩いていたところ、足を踏	40	11709	

	16	み外して転倒した。			
1	7~8	警備現場内1ゲートにおいて、敷き鉄板上を移動する際に転倒し、右足首を骨折した。	76	170201	100 ~ 299
1	16~17	事業所工場内において、穴あけ機で鋼材（H型鋼、H300×300、長さ5m、重量450kg）に作業台上（高さ60cm）で穴あけ作業中、移動する時に躓き、2~3歩よろけてしまい、H型鋼を跨ぎ足を下したところがH型鋼の間隙だった為に倒れて負傷した。	65	11209	1~9
2	15~16	5番ホールのグリーン奥で、次のホールに向かいながらお客さんの方を見ていたところ、スプリンクラーに気付かずに右足が嵌り、右足首が外側に捻りながら転倒し負傷した。	23	140301	1~9
2	16~17	工場加工場内で切断機上部を歩行中にスリップ・転倒し尻餅をつき、その際に縦に向いていたD16の鉄筋が臀部に刺さり出血した。	39	11209	10~ 29
2	15~16	工場内で廃材を片付け中に道路上に仮置きした廃材の上で足を滑らせバランスを崩し転倒した。	54	11209	1~9
2	14~15	会社の工場内で鉄材料を手を持って運んでいる時に足元の材料に足がのってしまい転倒してしまった。	29	11209	1~9
2	15~16	工作中、鋼材に躓き転倒して左手指を捻挫した。	65	11209	10~ 29
2	13~14	書棚を製作するため、作業台の上で溶接作業を行っていた。作業台の上で立ち上がろうとした際ふらついてバランスを崩し、製作していた鉄枠に手をついたが鉄枠が傾き作業台から鉄枠と共に落ち鉄枠に左足が挟まれた。	53	11502	1000 ~ 9999
2	10~11	鉄筋籠（長さ9m、直径88cm）3本をトラックに積み、荷締めをしていた。鉄筋籠をしっかりと固定するため荷締めのワイヤーをずらそうと鉄筋籠の上を歩いたところ、鉄筋から足を踏み外し（鉄筋の幅縦287mm、横282mm）膝まで鉄筋籠の中に足を突っ込むと同時に転落しかけ、宙吊りに	63	30199	30~ 49

		なった。その際右足脛を骨折した。			
3	6~7	野菜下処理室にて、排水弁の蓋を閉めようとした際に足で閉めようとして滑って転倒した。	62	10109	500 ~ 999
3	9~10	開店前清掃中、椅子を運ぶ作業をしていたところ前方が見えにくい状況であったため、足元の突起部分に気づかずつまずいて転倒した。その際に右手首から転倒し、運んでいた椅子が右手首に落ちてきたため骨折した。	73	150101	30~ 49
3	9~10	会社の倉庫で資材の整理をしているときに電線につまずき転倒した。	25	30301	1~9
3	13~14	当社作業場にて、船からの揚荷を船内作業中に、オープンコンテナ（2400×600×1500）にフックを掛けて、荷物（角パイプ）を足場にして下りようとして地上に足をつけた時、下に敷き詰めてあった平鋼で足を滑らせて転倒し、右手で支えようとして右手を強打し捻挫した。	37	50201	10~ 29
4	18~ 19	資材置場新設工事の現場において、地面に置いた単管パイプを取ろうとした際に誤って単管パイプを踏んでしまい、転倒したときに左膝を強く打ちつけた。	30	30209	1~9
4	11~ 12	納品先で従業員と二人で荷物を降ろすときに、相手方が手を滑らして品物が自分に跳ねかえり、それを避けようとして転倒した時に足が捻れ、左足くるぶしから踵にかけて腫れ、内出血が続く状態となった。	51	11009	1~9
4	9~ 10	弊社ガレージ内にて鉄製のパレットを作製中、角パイプを両手で抱え、床にあった部材等を跨いで運搬しようとした時、角パイプにつまずき、部材等にのしかかるように転倒した。	68	30106	10~ 29
4	10~ 11	工場内・入荷品、出荷品置き場で、トラックの荷台から一般鋼材（5~6m定尺パイプ）を荷下ろししようとした時、所定の置き場（床の上）に既に一般鋼材が大量に置かれていた。まだ一般鋼材を下ろす場所があるか否かを確認しようと、思わず既に置かれている一般鋼材に足をかけてしまった所、油がかかった一般鋼材の表面で足を滑らせ前へ転倒し、右第5	24	11209	30~ 49

		中足骨を骨折した。			
4	15～ 16	建造船上にて、パレットからパイプを取り出す作業中、パイプのフランジがパレットに引っ掛かってバランスが崩れ、足元にあるパイプにつまづき転倒した。その際、持っていたパイプと足元にあったパイプのフランジに右手が挟まった。	32	11501	1000 ～ 9999
4	3～4	仕分け作業をしている際に、トラックの荷台と倉庫を繋いでいる鉄板の高さを調整する為に、鉄板の下に敷いた木材につまづいて転倒し、左膝蓋骨を骨折する。	60	40301	50～ 99
4	9～ 10	共同住宅新築工事現場で天井下地組みの際、足場板を踏み外し転倒し、軽鉄材で左腕を負傷した。	34	30201	1～9
5	14～ 15	現場で鉄筋組みをしている時、組んだ鉄筋に躓き手から転んだ。	23	30199	30～ 49
5	8～9	当社敷地内にて歩行中、台を固定するため張っていた針金に気付かず足を取られ転倒した。	64	40301	30～ 49
5	15～ 16	GPセンター内で休憩に入るため作業場内を移動中、玉子のパッキングの機械の下に敷いてある鉄板に躓き転倒し、顎と肋骨部分を強打した。	69	70101	50～ 99
5	8～9	リサイクルセンター入口にて、ゲート下のワイヤーに躓き転倒した際、手に持っていたDVDプレーヤーで右手薬指を切ってしまった。	67	11709	30～ 49
5	8～9	出勤時、就業先敷地内を歩行中、低い鉄板のスロープを通った際に雨で鉄板が濡れていたため足を滑らせ転倒し、左足首を捻った。	44	170101	1000 ～ 9999
6	16～ 17	当社工場内にて、鋼材の在庫管理の為、置いてある製品の奥に行こうとして、右足が引っかかり転倒し、左手をついて骨折した。	54	11301	10～ 29
6	18～ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出していた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	11502	50～ 99

6	18～ 19	段取り作業時に、溶接治具を棚に収容するためハンドリフターで治具を運び、45度旋回した。その際、はみ出ていた治具のクランプに足を引っ掛け転倒した。転倒時、右腕で身体を支えたため右腕全体に痺れと痛みが生じ、救急搬送され受診した。	38	170101	100 ～ 299
6	10～ 11	作業所梱包場において、アルミコイルが載った鉄馬4台、アルミスクラップが載った鉄馬1台、空の鉄馬1台が1列に連なって並んで置いてあった。被災者は、アルミコイルの内径を測定するため歩きだした。アルミコイルの内径を測定する馬台の前には、アルミスクラップが載った馬台が置かれていた。被災者は、アルミスクラップの載った馬台に乗らなければアルミコイルの内径を測定する事が出来なかったため、右足を鉄馬の上に載せ、左足をアルミスクラップの上に載せた時、両足が前に放り出され、鉄馬の上に尻もちをついた。	50	50101	50～ 99
6	13～ 14	当社土場（資材置場）において、資材道具などの片付作業中（雨天で現場が中止のため、土場での片付作業中）、土場に敷いてある敷鉄板（鉄製1500×5000）上を歩いていた時、雨が降り鉄板が濡れていたため、足が滑って鉄板上で転倒し、その時に右手小指を骨折した。	70	11209	30～ 49
6	10～ 11	レストラン店舗内へ味噌汁を運ぼうとしていた際、コックシューズがまだ届いておらず、スニーカーを履いていた為、排水溝のグレーチングで滑って転倒し、尾てい骨部に打撲を負った。	46	140201	30～ 49
6	14～ 15	会社工場内にて移動中、地面に置かれていた金属製のカゴに入っている鉄の棒（長さ1m程度）に靴紐を引っかけてしまい、その場で転倒した。その際、左肘を地面にぶつけてしまう。その時は特に痛みは大きくなかったが、2週間程してから、左足（特に膝）に強い痛みを感じるようになった。	49	11204	10～ 29
6	3～4	店舗において、ベルトコンベア上で荷詰まりが起こり、その詰まりを解消して作業位置に戻っていたところ、床に倒れていた棒に足が引っ掛かり、右膝から転倒して負傷したものである。	32	40301	500 ～ 999
		終業後の片付中、手には何も持っていない状態で現場内の敷鉄板上を歩			

6	17~ 18	行していたところ、敷鉄板の段差約7mmで足を躓き、1.5m前の鉄板段差約22mm部分で左膝を強打した。その場でうずくまっているところをすぐ周囲にいた同僚に発見された。	49	30201	—
6	8~9	電柱置場に複合柱を搬入する為、在庫してある複合柱を整理（移動）をしようとして前日の雨で濡れていた鋼管の上に乗って作業中、その鋼管上（高さ約30cm）で滑って転倒し、左胸と右膝を負傷した。	52	40301	10~ 29
7	9~10	レーザー作業中、作業台に置いてあるレーザーの加工材料に引っかかり、転倒してしまい右膝を負傷。	45	11403	1~9
7	18~19	冷蔵庫内ゴミ置場手前で、ダストカートに入っていたゴミを一旦カートから足元付近に取り出した。最後のゴミをカートから取り出し、ゴミ置場まで運ぶ際に足元にあったゴミに足をとられ転倒し、右膝を床に強打した。	56	11209	10~ 29
7	18~19	第三包装室で製品を金属探知機へ流している作業中に、金属探知機のベルトと台座の隙間に右手をベルトに巻き込まれ挟まれてしまった。	56	170101	50~ 99
7	15~16	外出のため、事務所を出た時、雨のため濡れていた玄関ポーチで足を滑らせ転倒した。その際、左足首を骨折した。原因雨のため滑りやすくなっていた事に気付かず、小走りに不用意に歩いたため。	65	170201	10~ 29
7	10~11	昼食弁当の配達先である配達場所に弁当を運ぼうと、配達車両からバット（おかず6個、ライス5個等）を持って降りたところ、配達車両の横にあったパイプの止め具に右足がひっかかった。弁当は落としてはいけないと思い、前のめりに左足つまさきから着地した時、体の全体重が左足親指に掛かり骨折した。当日は会社から湿布を2枚もらったが、痛みが続いた。	51	80209	100 ~ 299
7	5~6	構内にて、ヘッジトリマー（ブレード長600mm）を使用して、低木（サツキ）の刈り込み作業中、低木の上端をヘッジトリマーを横に向けて刈り込みをした後、低木の側面を刈り込みするために、ヘッジトリマーを縦向けに持ち替えようとした際、左手で前方グリップを掴もうとしたが、誤って左手薬指がヘッジトリマーの刃に接触し、薬指の先端を切	66	80205	10~ 29

		断・負傷した。			
7	8~9	工事現場で、2階II工区の柱主筋圧接作業のため、床に置いてある柱主筋材のサンダー掛けをしようとしたところ、型枠材1枚が鉄筋上にかぶさっていたので、それを取り除こうとした時、足元にあったHOOP筋につまずいて転倒し、左足を負傷した。	56	30201	10~ 29
7	11~ 12	レストラン店舗内厨房にて調理作業中、床が濡れていたため、排水溝の蓋と床の境目辺りで滑って転倒し、左手と臀部を強打し負傷した。	54	140201	30~ 49
7	16~ 17	倉庫にて、製品（厚さ200mm、幅405mm、長さ約9000mm、1ロット）をクレーンを使って移動していた。揃え重ねて置くため横にある製品の上にあがり、中央部分に近づこうと歩いていた。その際、右足が滑り右膝から製品の上に転び、右膝脛部分をつきながら滑り、製品の角部分で右膝脛部分を切り、負傷した。	20	11209	10~ 29
7	14~ 15	工場内で電話中、音声聞き取りにくかった為、工場外へ電話をしながら出ようとしたとき、切断後の端材に足が引っかかり転倒し、左膝を床に強打し負傷した。	53	11301	50~ 99
7	11~ 12	現場で70kgの鉄板を2人で下ろす作業をしていたとき、バランスを崩してお尻から転倒し、腰と肩から背中にかけて打撲した。	44	10807	1~9
9	9~ 10	配管加工（65A）中において、配管を架台に固定して加工中、力を加えた所バランスを崩し転倒、足首を負傷した。	57	30302	1~9
9	8~9	設備管理室前の道路上で、長さ7m重さ38kgのリップみぞ形鋼を二人で持ち上げ移動中、前方の作業者が後ろ向きで移動した為、足元にあった65A電管につまずき後ろ向きに転倒した。その際持っていたリップみぞ形鋼の先端が股間にあたりケガをした。	66	10899	50~ 99
9	10~ 11	工場内でプレス機械を操作中、右後ろの台の上にある材料を取り込むのに邪魔な鋼材を移動するため台の前で下にあったスクラップ材の上に乗って鋼材を持ち上げたところ、足が滑り転倒、下にあったスクラップ材に左腕肘下部が当たり裂傷を負い同時に中指・薬指の腱を切った。	35	11203	10~ 29

9	6～7	L-5 ETC専用レーンに誤進入車が流入、課金処理後、お客様の車両へ向かう途中で支柱のボルトに足をとられて転倒、その際支柱に右膝を強打し負傷したものである。	50	170209	10～ 29
9	13～ 14	防火水槽蓋改修工事の準備の為、元請の駐車場兼資材置場にて、3tダンプの荷台から、マンホールの蓋を降ろそうとした際、下半身が踏ん張りが効かず、バランスを崩し転倒、その際、マンホールの蓋が、左下腹部に落ち、圧迫される形となってしまった。	52	30201	1～9
9	10～ 11	資材置場で資材の片付け作業中、4mの単管パイプ（2本）を担いで移動中、足元にあったバタ角（90m×90m、2m）に気付かず、つまずき転倒した。	37	30209	1～9
10	11～ 12	当社事務所の鋼材ヤードにおいて、入庫した平鋼にサビ防止のためのシートをかける作業を行っていた。作業中にシートの下にある平鋼に足を引っかけてしまい、転倒して負傷した。	68	11209	10～ 29
10	19～ 20	工場駐車場でトラックを降り、出荷プラットへ向かい走っていた際、夜間で周囲の状況が確認しにくい状況で、鉄製の輪止めにつまずき転倒した。左足親指不全骨折となる。	39	40301	100 ～ 299
10	17～ 18	寿司作業場にて作業場内を歩いて移動中、排水溝が濡れていた為足を滑らせて転倒し、ゴミ箱にぶつけて左胸部を打撲した。	57	80209	500 ～ 999
10	14～ 15	工場内にて、産業廃棄物の仕分け作業中に、パイプにつまずいて転んで、右手首をついて骨折してしまった。	70	150102	1～9
10	15～ 16	倉庫に置いてある部品に躓き転んだ。その際、手のつき方が悪かった。	57	11701	1～9
11	8～9	倉庫内で転圧機（プレート）を搬出しようとした際に、足元に物がある不安定な状態で引っ張り転倒して腰を痛めた。	38	30199	1～9
11	8～9	玄関ロータリー内庭園の樹木を1人で剪定中、足場になっていた枝が折れ庭園芝生の上に落下転倒し、右足親指を骨折した。	66	10109	100 ～

					299
11	17~ 18	構内で機材を高い所にのせようと、足を踏み込んだ先に、ドーリーが足元にあり、股を割るような姿勢になってしまい、右足大腿部裏側を痛めてしまった。	20	30209	1~9
11	15~ 16	当社資材倉庫にて翌日の現場作業準備中に、H鋼の破片に足が引っ掛かり前のめりに転倒してしまった。その際、右脇腹を足場パイプに強打した。その後、痛みが引かないため病院に行った。	62	30309	—
12	11~12	教育実習棟（旧病院棟）2階男性用トイレにおいて、用を足そうとした時、床の中央付近にある排水溝のフタに足をとられ転倒して、左足を強打した。	65	120109	500 ~ 999
12	14~15	会社の資材置場で単管パイプ等の資材を手作業で整理している時に足場が不安定だった左足側が崩れてしまい、左足関節後踝骨折となった。	44	11709	10~ 29
12	22~23	厨房内にて皿洗いの業務をしているとき、足場付近に立てかけてあった鉄板に足をひっかけてしまい、そのまま転倒し、膝を強打した。	21	170101	500 ~ 999
12	17~18	電気工事のバケット車が移動したので、その後ろを小走りで追いかけていた。被災者が通る道路に鉄板が敷いてあり、その上ですべって転倒して、右ひざを損傷した。夕方で暗く、鉄板に雪が積もっており、状況が分からなかった。	61	170201	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html